

「心に残る文化財子ども塾」活動の様子

1. 活動の概要

令和元年6月11日（火）、浜田私立今福小学校で「心に残る文化財子ども塾」を開催しました。今回の内容は古代食作りであったので、はじめに縄文時代と弥生時代の食生活について勉強しました。実際に出土した食料残滓や狩猟具、加工具を持参し、より具体的なイメージをもってもらうことができました。

そして、家庭科室では古代食作りとしてどんぐりハンバーグと古代米を作りました。どんぐりハンバーグではそれぞれ個性的な形を作るなど、子どもたちも楽しんでいる様子でした。実食の際には埋文センターの職員の方まで食器を用意していただきました。

最後に少し時間が余ったので、座学の説明に用いた遺物を触りながら質問を受ける時間を設けました。銅剣の作り方や縄文土器が意外にも薄く作られていることなど、多くのことを知ってもらうことができました。

2. 活動の様子



縄文時代と弥生時代の食生活について勉強しました



おいしいご飯ができるかな？



ハンバーグの具材を混ぜ合わせます



いただきます！

3. 子ども塾を終えて

① 児童の皆さんから

- ・今福小学校の近くにも遺跡がいっぱいあってすごいと思いました。
- ・どんぐりハンバーグを作るのが楽しく、昔の人は1食作るだけでも大変だったと思いました。
- ・縄文土器をたくさんみる事ができてよかったです。

② 担任の先生から

- ・本物に触れる、体験をする、専門家の話を聞く、などの経験を通して実感をもなった理解を深めることができました。
- ・縄文時代の人々と自分を結び付けて考えている児童がいて、とても大切な気づきだと思いました。
- ・実際に近くの遺跡に行ってそこで見学しながら説明をうけるなどの体験もできたらいいなと思いました。

③ 埋文センターから

- ・今福小学校の周辺で調査された遺跡を紹介し、興味をもってもらうことができよかったです。
- ・どんぐりハンバーグを児童のみなさんがおいしそうに食べていたのがよかったです。また、調理の際に同時に洗い物も進めるなど、役割分担がしっかりとできていたことに感心しました。
- ・最後の遺物見学では銅剣の作り方や縄文土器と弥生土器の違いなど色々な質問をしてもらって興味をもってもらえていることが実感できました。